

令和5年10月3日
北九州市市民文化スポーツ局

報道機関 各位

北九州フィルム・コミッション支援作品

近浦啓監督作品『大いなる不在』
第71回「サン・セバスティアン国際映画祭」
「アテネオ・ギプスコアノ賞」「最優秀俳優賞」W受賞！

令和5年8月25日発表のとおり、北九州市出身の近浦啓監督がメガホンを取り、北九州市が舞台となっている映画『大いなる不在』が「サン・セバスティアン国際映画祭」オフィシャル・コンペティション部門へ選出され、上映部門を問わず全ての作品から1作品が選出・授与される「アテネオ・ギプスコアノ賞」を受賞、俳優の藤竜也氏がシルバー・シェル賞（最優秀俳優賞）を受賞したことが発表されました。

記

- 1 監督 ちかうら けい
近浦 啓さん《北九州市出身》
- 2 出演者 もりやま みらい ふじ たつや まき こ
森山 未来さん、藤 竜也さん、真木 よう子さん、
はら ひでこ
原 日出子さん
- 3 撮影時期 令和4年3月
- 4 撮影場所 九州工業大学、J:COM 北九州芸術劇場小劇場、北九州空港、
スターフライヤー、ザ・スティール・ハウス 他

- ※ 詳細は別紙、クレイテプス株式会社様の記者発表資料をご参照ください。
- ※ 映画に関係する画像（場面写真等）が提供できます。別紙をご確認のうえ、必要な方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。
・場面写真 ・上記出演者のアーティスト写真 ・海外版ポスター
・撮影風景写真 ・近浦啓監督の写真 ・ティザー
- ※ 『大いなる不在』の公開は、2024年予定。

「アテネオ・ギプスコアノ賞」

上映部門を問わず全ての作品から1作品が選出・授与される。

150年の歴史を持つサン・セバスチアンの文化財団「アテネオ・ギプスコアノ」が独自の視点で、最も卓越した作品に与えられる賞。

「シルバー・シェル賞（最優秀俳優賞）」

最優秀男優賞と最優秀女優賞の二つの賞が、2021年から一つの「最優秀俳優賞」となった。日本人の俳優が最優秀俳優賞（最優秀男優賞）を受賞するのは、同映画祭の71年の歴史の中で初。

<お問い合わせ先>

市民文化スポーツ局文化企画課（北九州フィルム・コミッション事務局）
担当：（課長）村田・（係長）上田 Tel.093-582-2389

**** 即時解禁 ****

森山未来・藤竜也・真木よう子・原日出子 出演

『大いなる不在』

第71回サン・セバスティアン国際映画祭
「最優秀俳優賞」「アテネオ・ギプスコア賞」W受賞！

お世話になっております。第48回トロント国際映画祭でのワールドプレミア(世界初上映)を行った、森山未来主演・近浦啓監督作品『大いなる不在』(英題:GREAT ABSENCE)が、第71回サン・セバスティアン国際映画祭のオフィシャル・コンペティション部門へ選出され、ヨーロッパ初上映を行い、アテネオ・ギプスコア賞、最優秀俳優賞(藤竜也)、の二冠を受賞しました。ぜひ、本情報をご紹介しますようお願い申し上げます。

森山未来主演・近浦啓監督作品『大いなる不在』
第71回サン・セバスティアン国際映画祭にて、
アテネオ・ギプスコアノ賞受賞。
さらに藤竜也が日本人初となる最優秀俳優賞を受賞。



© SSIFF - Photo: Ulises Gutierrez



© SSIFF - Photo: Pablo Gómez

その他の使用可能な写真は、2ページ目最下部のリンクよりダウンロードできます。

第71回サン・セバスティアン国際映画祭の授賞式が日本時間9月30日から10月1日にかけてスペインで行われた。日本時間9月30日夜には外郭団体の各賞が発表され、森山未来主演・近浦啓監督の作品『大いなる不在』(英題:Great Absence)が、上映部門を問わず全ての作品から1作品が選出・授与される「アテネオ・ギプスコアノ賞」を受賞した。この賞は、150年の歴史を持つサン・セバスティアンの文化財団「アテネオ・ギプスコアノ」が独自の視点で、最も卓越した作品に与えられる賞である。

また日本時間10月1日未明には、オフィシャル・コンペティション部門の審査結果も発表され、俳優の藤竜也が、シルバー・シェル賞(最優秀俳優賞)を受賞。サン・セバスティアン国際映画祭では長年、演技の賞として最優秀男優賞と最優秀女優賞の二つの賞が設けられていたが、2021年からは性別で賞を分けることを廃止し、一つの「最優秀俳優賞」となった。日本人の俳優が最優秀俳優賞(最優秀男優賞)を受賞するのは、同映画祭の71年の歴史の中で初となる。

審査員の一人、中国人女優ファン・ビンビンにトロフィーを渡された藤竜也は、「作品上映後に、劇場の明かりがついた瞬間に、私たちは思いがけない光景を目にしました。心に沁みるとも長いスタンディングオベーションでした。そして、私たちがこの劇場から退出するために長い廊下を歩いて行くと、また両側にサン・セバスティアンの観客の皆さんが、温かい拍手と、たくさんの優しい眼差し、たくさんの美しい笑顔を下さいました。映画よ、ありがとう。」と、日本語、スペイン語、バスク語でも感謝を述べ、続いて、監督、スタッフ、共演者らの名前を読み上げて「ありがとう」と繰り返し、最後に、映画の主権者・関係者、観客にも力強く感謝を表し、幾度となく会場からの大きな拍手に包まれた。

『大いなる不在』は、日本時間 9 月 29 日 22 時半よりクルサール国際会議場 (Kursaal Auditorium) にて、ヨーロッパプレミア上映が行われた。1,800 人もの観客を収容する映画祭最大級の会場では、上映終了後は5分に及ぶスタンディングオベーションが贈られた。さらに、劇場ロビーでも鳴り止まない熱い拍手に、近浦監督は感無量の表情、藤竜也は涙を拭うシーンもあった。

今年、オフィシャル・セレクションには、日本からは宮崎駿監督の『君たちはどう生きるか』(英題: The Boy and the Heron)、近浦啓監督の『大いなる不在』(英題: Great Absence)の二作品が選出されている。

映画『大いなる不在』は、2024 年の日本公開を予定。

藤 竜也(ふじ・たつや) コメント

サン・セバスティアンの観客の皆さんが『大いなる不在』に、たくさんの心にしみる拍手を、たくさんのやさしい眼差しを、たくさんの美しい笑顔をくださいました。それだけで至福なのに、賞までいただくことになりまして、信じられない思いであります。

近浦 啓(ちかうら・けい) 監督 コメント

サン・セバスティアン国際映画祭でのヨーロッパ初上映。映画『大いなる不在』の魅力が国境を超えて届いた瞬間に、確かに立ち会うことができました。こうして二つの賞をいただけたことで、温かく強く背中を押してくれたように感じました。

(近浦啓監督プロフィール)

2013 年、短編映画『Empty House』で映画監督としてのキャリアをスタート。2015 年から 2017 年にかけて、短編映画 2 本を発表し、第 38 回クレルモン=フェラン国際短編映画祭、第 70 回ロカルノ国際映画祭、第 42 回トロント国際映画祭をはじめ数多くの映画祭に選出され、長編映画制作への土台を築く。2018 年、『コンプリシティ/優しい共犯』で長編映画デビュー。第 43 回トロント国際映画祭(ディスカバリー部門)でのワールドプレミア上映を皮切りに、第 23 回釜山国際映画祭(アジア映画の窓部門)にてアジアプレミア、さらには、第 69 回ベルリン国際映画祭(キュリナリー・シネマ部門)でヨーロッパプレミアを果たし、世界各国のトップクラスの映画祭に招待。日本国内では、第 19 回東京フィルメックスで、観客賞を受賞。2020 年 2 月に全国劇場公開された。2023 年、2 本目の長編映画である『大いなる不在(英題: GREAT ABSENCE)』を発表。第 48 回トロント国際映画祭のコンペティション部門でのワールドプレミアが決定した。

サン・セバスティアン国際映画祭での フォトコール、レッドカーペット、プレミア上映後の様子、授賞式の写真・動画素材は、以下の URL からダウンロード可能です。

■ ダウンロード URL <https://x.gd/JW3qn>

それぞれのファイル名にクレジットが記載されています。ご掲載の際には、クレジットの表記をお願いいたします

【クレジット表記仕様】

ファイル名「img_44574 (c) SSIFF - Photo Ulises Gutierrez.jpeg」の場合、クレジットは「© SSIFF - Photo: Ulises Gutierrez」となります。

監督・脚本:近浦啓 共同脚本:熊野桂太 出演:森山未来、藤竜也、真木よう子、原日出子 ほか
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
特別協力 北九州フィルム・コミッション 製作:クレイテプス © 2023 CREATPS

2024 年公開予定